

# 絶景

らせん階段をのぼると角島の海



踊場からの景色



灯台公園からの景色



角島灯台のレンズ



らせん階段の天井

貝の中にあるような  
美しい曲線



夜の角島灯台



休日のひとこま



らせん階段

階段の数を  
かぞえてみませんか



水仙



空撮

## 灯台へのアクセス

### ★鉄道・バス等

J R山陰本線特牛駅下車

特牛駅～(ブルーライン交通バス)～灯台公園前

下車(25分)、徒歩5分

### ★自動車

中国自動車道下関IC～国道191号、県道275号、  
276号経由 約1時間20分

中国自動車道美祢IC～国道435号、県道275号、  
276号経由 約1時間10分



### < 参観寄付金 > 300円 (中学生以上)

小学生以下及び障がい者(介助が必要な方は、介助者1人まで)の方はいただきません

### < 参観時間 >

3月～9月 9:00～17:00

10月～2月 9:00～16:30

### < 公益社団法人燈光会 角島支所 >

〒759-5332 山口県下関市豊北町角島2343-2

TEL : 083-786-0108 (FAX兼用)

参観状況は下記のHPにてご確認  
ください。悪天候時は灯台に  
のぼれない場合がございますので  
ご了承ください。

<https://www.tokokai.org/tourlight/tourlight11/>



つのしまとうだい

# 角島灯台

重要文化財

日本で三つしかない  
ベージュの石が美しい灯台



のぼれる灯台16の1つです

# 資料展示室

展示室は、地元豊北町が復元した旧灯台官舎（明治9年建設）に設置しており、初代の所長が外国人であったことや、苦勞した灯台建設の経緯などを模型等で説明しています。



復元された旧灯台官舎（現記念館）  
2020年重要文化財に指定



内部の展示状況



お雇い外国人



英国人技師の生活

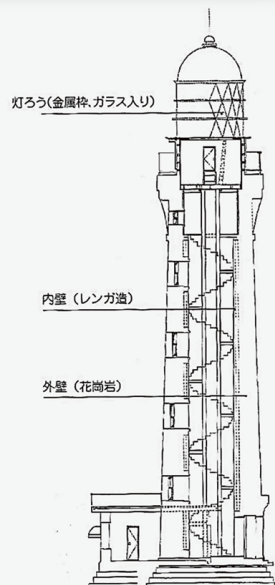


展示レンズ



有形文化財  
「水銀槽式回転装置巻上機」

# 灯台の姿図



断面図

## 【この灯台の概要】

位置	北緯 34度21分 9秒 東経 130度50分28秒
塗色・構造	無塗装・塔形(石造) (灯台の色と造りのことです)
灯質	単せん発光 5秒に1回発光 (沖合の船舶から灯台を見た場合、 回転するレンズから放たれる光を5 秒ごとに見ることができます)
光度	670,000カンデラ (「カンデラ」とは、光源の強さを表す 単位です)
光達距離	18.5海里 (約34キロメートルです。1海里は 1,852メートルです)
明弧	352度から232度まで (明弧とは光が見える範囲のことです)
高さ	灯台の基礎部から灯台の頂部まで 30メートル 平均水面上から灯火まで45メートル 地上から灯火まで26メートル
初点灯	明治9年3月1日

# 灯台の歴史

角島灯台は角島の西端に設置されています。海拔がわずかに18.66mと低地に築造されることから、当時としては数少ない高塔形式で建てられ、明治6(1873)年の8月13日着工、完成までに約3年を要し明治9(1876)年3月1日に点灯しました。

灯塔の高さは約30m、その24m付近まで荒磨きの加工切石を使い、上部は切込みをいれた切石を装飾的に配し、柔らかい雰囲気がかつ美しい姿をつくりだしています。

この灯台の設計は明治政府がイギリスから招へいた灯台技師ブランドン、工事監督はイギリス人技師、オスロー、ハウス、ディックの3代で進められました。

レンズはイギリスから輸入した8面フレネルレンズの回転式を使用しており、現在資料展示室に一部復元し展示されています。

2020年12月23日、技術的に優秀であることから、現役灯台では初めて重要文化財に指定されました。



明治期の角島灯台